

42 破天荒

令和 元年度版
創刊
第二十四号

四十二回生の入試が始まりました

令和元年十一月一日金曜日、四十二回生大学入試が始まりました。令和3年度大学入学者選抜大学入試英語成績提供システム共通ID登録申し込みが、本行われたのです。大学入試センターへの申し込みですから、四十一回生が九月から準備し、完了した大学入試センター試験申し込みとほぼ同じ要領で、四十二回生も中間考査の最中から準備をはじめ、本人達の記入方法のチェックをしながらの記入、担任のチェック、学年のチェック、進路指導部のチェックを受けての管理職決裁の後、今日の発送を迎えました。ただ、これだけの人の思いが込められていることを、本人・保護者の方もご理解ください。今回は、申込金額は無料でした。しかし、センター試験（我々からは共通テスト）には、受験料が伴い、その振込控を申込用紙に貼付します。現役生は、自らの手で振り込みに行ける物理的な時間はありません。つまりは、保護者にそれを委ねるのですが、そのことを生徒は、当たり前前の権利と思わず、保護者への素直な感謝の気持ちを持つことができるか、そんなことも含めて、受験準備を行うことができるか、受験のスタートである申込書の記入を、ミスなく適切に行うことができるか……。

今回の記入で見られたミスをお伝えします。

- ・ 学校番号・記号の書きミス
- ・ 番地等の1数字1マス書きのミス
- ・ 電話番号の市外局番の不理解
- ・ 住所の郵便番号知らず

時代は変わっているのでしょうか。こんなに、郵便番号や電話番号の記入にミス、時間の浪費がされているとは驚きでした。お陰で来年の共通テスト申し込みの予行演習ができたと思うようにします。

でき得れば、何事もスタートはきれいな形で、と考えるのですが……。さて、保護者の皆様に問いかけます。以下は、職員室で聞こえた話です。この成績提供システムの申し込みと、時をほぼ同じくして、修学旅行でのスキー実習のための服装、ブーツサイズ等の調査用紙。いずれも、自宅に持ち帰らせて提出を要求しましたが、さて、問題です。

前者、後者ともに、提出期限を設けました。どちらの揃いが良かったでしょうか。因みに、優先順位とすれば、どちらの方が重みは上でしょうか。加えて、私は一体、保護者の皆様に生徒達のどんな課題を伝えたいと考えられますか？

基礎基本の徹底。言葉は簡単です。だから、日々の基礎基本の徹底が、どれほど大切なことなのか、さあ、今このときから始めましょう。

11月模試を前に

今回より、文系は5教科7科目(理科は基礎2科目で60分)、理系は6教科6科目での受験となります。実力テストから、いよいよ自分の教科バランスが測られ、入試に向けて、どの科目を強化すべきかを知る機会になってきます。

部活動の生徒がクーリングダウンに入る頃に、2年生のHR教室の様子を見に上がっています。ついうっかり、戸締まりを忘れていたり、窓が半開きになっていたり、トイレ、廊下の窓が時折開き放しであったり……。つい、悪い方に目が行きがちなのですが、図書室も含め、HR教室にも、42回生の生徒が残り、雑談することなく、黙々と自分の世界の中で集中して、放課後の時間を有効に使っている者が増えつつあります。

考査前に、教室は賑やかになるものですが、そうではなく、まるで部活動のように、自学している様子は、一日の疲れを癒す一服の清涼剤でもあり、われわれに、「まだ生徒のために何かしてやれることがあるのでは」という気持ちにさせられます。

もちろん、やったことがすぐに成果につながるなんて甘いものではないですが、「言われたら」世代と思っていた42回生の中から、自学の精神が生まれ、育ち、広がることを期待していきたいと思います。

さあ、11月の全国大会を前に、科目選択の予備調査においては、文系で70名弱の生徒が国公立文系を希望してきました。中間考査では、その意気込みが空回りしてしまった生徒もいるかもしれませんが、思い、動き、空回り あるいは 上手くいかない苛立たしさを経験して、何かをつかんだ達成感の瞬間を見逃さぬように、と思わずにはられません。

42回生 悩んでなんぼ！ 悩みがなんぼのもんだ！！
やって悩め！ 悩んだ波に乗ってその悩みを乗り越えろ！！
人間って不思議
だから 何もしなくても 何でかわからなくても 悩んだ気になる
ならば やって悩んだ方が 毎日が面白い！！

42回生 悩んでいる自分がいたら誉めてやろう

お知らせ

三年生文系科目選択に関して

十月四日に締め切った予備調査の結果、希望者数が非常に少なかったため、次の科目については、開講されなくなりました。したがって、十一月六日に配布する三年生科目選択本調査には、それらの科目については選択肢がなくなり、間違った答えがなくなります。

開講されない科目

- ・ 理科総合基礎科目について
- ・ 物理総合基礎
- ・ 私立文系選択科目について
- ・ 体育
- ・ 子どもの発達と保育
- ・ 情報の科学

修学旅行について

出発の飛行機便が決定しました。併せて、出発日の集合場所、時間等についても、詰めの段階にきております。本校ホームページ内に設けて頂いた、四十二回生修学旅行用ページなども有効に使用しながら、生徒達が修学旅行の準備をどう進めていくのか、紹介していきたいと思っております。

出発飛行機について

- ・ 一月十四日(火)
- ・ 全員一便で
- ・ 八時
- ・ 伊丹空港発
- ・ 羽田空港経由
- ・ 十一時三十五分
- ・ 新千歳空港着

これからも、大切な情報が伝えられます。聞き漏らし等のないように気を付けよう。

四十二回生読書感想文 兵庫県代表として全国へ

十一月を前に、嬉しいニュースが飛び込んできました。夏休みの宿題として、一、二年生全員に、三年生は希望者に課せられていた読書感想文の中で、二年三組の石井あゆみさんの感想文が、この度、本年度兵庫県代表作品として選出されました。おめでとうございます。
正式には、第六十五回青少年読書感想文兵庫県コンクール県知事賞だそうです。

作品名は

「この川の向こうに君がいる」 濱野京子 作 です。

ここに至るまでに、担任の先生、国語科の先生、西播地区の読書感想文選考委員の先生、そして、兵庫県の選考委員の先生方の心に響き続けた作品です。
本年度の本校図書会報である「邂逅」で紹介されるでしょう。乞うご期待を。

相高校生フォーラム学年代表

十一月十三日(水)に行われる、令和元年度相高校生フォーラムについて、発表者が確定したのでお伝えします。

- 二組 備生 智大 君
- 四組 小谷 果楠 さん
- 四組 永田 夢海 さん

今年から、聴取者は一、二年生になります。約六百の視線をしっかりと受け止めて、反対に自分の目から熱い視線を返して頑張ります。良い経験となりますように。
夏休み以降の生徒の活躍状況を、なかなか紹介できておりません。十一月半ばを目標に紹介できるよう、頑張ります。

挨拶運動



9月も天候に恵まれず

10月も雨

だが、雨にも負けない笑顔と大きな声で

四月立会演説会から始まった四十二回生生徒会も、早や折り返しを迎えました。様々な経験を繰り返しながら、毎月掲げる生徒会のテーマも、自分達を鼓舞するように、熱い想いがあふれるスローガンになってきています。
月一回の挨拶運動においても、マンネリ化することなく、毎回爽やかな挨拶を掛けてくれています。
やらされている感を感じることもあるかと思いますが、毎回そのようなこともなく、自分達に与えられた任務を、自分に遂行してくれています。
ここ二回は、天候にも恵まれず、出勤・通学に向かう近隣の方、来相の方も、やや暗い表情でもありました。生徒会の生徒が掛ける声に表情を緩め、口を開かれる方も数多く見られました。
たかが挨拶、されど挨拶。校内においても、われわれも心掛けないといけないことですね。秋は、様々な行事が目白押しですが、なかなか忙しい中ではあります。生徒会だけでなく、四十二回生としても、協力していきたいです。

十一月以降の予定

- | | | |
|-----|-----------|---|
| 十一月 | 二・三日(土・日) | ベネッセ記述模試
(欠席者は、四、八日に行います) |
| | 四日(月) | 文化の日振替休日 |
| | 五日(火) | Jアラート(十時始動) |
| | 六日(水) | 創立記念国際理解講演会
(五、六時間目) |
| | 八日(金) | 三年時科目選択本調査用紙配布
創立記念日(休日) |
| | 九日(土) | 土曜講座 |
| | 十三日(水) | オーブンハイスクール
相高校生フォーラム(一・二年)
英語スピーチコンテスト出場者
スピーチ披露 |
| | 十四日(木) | いじめアンケート配布(保護者・生徒) |
| | 十五日(金) | 挨拶運動 および PTA街頭指導 |
| | 十八日(月) | いじめアンケート回収 |
| | 二十日(水) | 通学路清掃 |
| | 二十二日(金) | 科目選択本調査提出〆切 |
| | 二十三日(土) | 勤労感謝の日
土曜講座 |
| 十二月 | 二〜六日(月〜金) | 二学期期末考査 |
| | 六日(金) | 神戸大学留学生交流事業 |
| | 七日(土) | GTEC |
| | 十一日(水) | 自然科学コース徳島大学研究室訪問 |
| | 十六日(月) | 午前中授業(三〜六限) |
| | 二十四日(火) | 終業式 |
| | 二十七日(金) | 仕事納め |
- 十月分ポートフォリオデータチェックを、十一月六日放課後に行います。連休を利用して入力・承認をしておいてもらえるようお願いいたします。